

寄稿

「いのちを守り育てる地域自給圏」へ

小田原市長 加藤 憲一

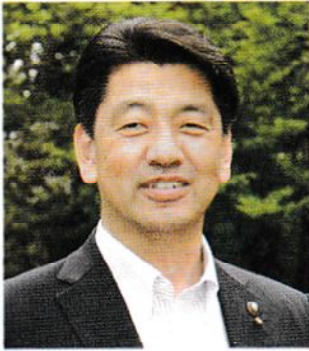
早いもので、この5月に小田原市長としての10年目を迎えました。直面する多種多様な課題をひとつずつ解決へと進めつつ、人口減少・高齢化・社会インフラ老朽化といった、この国の地方を巡る構造的な難題を乗り越え「持続可能な地域社会」を創るべく、多くの皆さんと共に様々なチャレンジを重ねています。

と考えています。

これらのプロセスの中で私は、この地域が持つ、恵まれた地理・自然環境、歴史・文化・産業の蓄積、地域の力、市民の力と、そのありがたさを、つくづく感じています。それは、二宮尊徳先生流に申せば、まさに各分野の「徳」が発揮され、推譲されている姿に他なりません。引き続き、この地が包蔵する可能性が更に花開くべく、全力で与えられた使命を果たすつもりです。

組みテーマを9つ設定し、この地域が目指すべき姿として、「いのちを守り育てる地域自給圏」という概念を掲げています。私たちの「いのち」を支えるために必要な要素は、できる限り地域の中で賄えるようにする。清浄な空気や水はもとより、食、エネルギー、住まい、ケア、コミュニティ、学びといった要素を、バランスよく整えていくことが大切です。小田原を含むこの県西地域こそは、まさにそれが可能である

小田原ではこれまで、県内唯一の「有機農業モデルタウン」認定に基づき、再生可能エネルギーの地域自給を目指した多彩な取り組み、伐期を迎えている豊富な木材資源の活用に向けた研究や事業、高齢者・障がい者・子育て家庭などを地域の中で支え合うケアタウン、連合自治会単位で自治会をはじめ諸団体が手を携えまちづくりを進める地域まちづくり組織、小中学校と地域が連携して子どもを育てるコミュニティスクール導入など、民間・行政を問わず幅広い担い手の活躍と協働により着実に取り組みが進んできました。



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校・京都大学法学部卒。2008年5月小田原市長に初当選、現在3期目を務める。妻と子ども2人の4人家族。

私が変わる・小田原が変わる

おだわらを拓く力

(加藤けんいち後援会)

小田原市栄町2-13-1-2F

TEL.0465-21-5260

(月・水・金 10:00~17:00)

http://www.katoken.info